

平成24年6月 教育委員会定例会会議録

1 開会の日時

平成24年6月29日（金） 午前9時30分

2 出席委員

三 塚 勉	委員長
三 浦 溥太郎	委員
齋 藤 道子	委員
森 武 洋	委員
永 妻 和子	委員（教育長）

3 出席説明員

教育総務部長	渡 辺 大 雄
教育総務部総務課長	大 川 佳 久
教育総務部教育政策担当課長	平 澤 和 宏
教育総務部生涯学習課長	原 田 修 二
教育総務部教職員課長	高 橋 淳 一
教育総務部学校管理課長	丸 茂 勉
学校教育部長	中 山 俊 史
学校教育部教育指導課長	渡 辺 文
学校教育部支援教育課長	小田部 英 仁
学校教育部学校保健課長	藤 井 孝 生
学校教育部スポーツ課長	伊 藤 学
中央図書館長	小 貫 朗 子
博物館運営課長	稲 森 但
美術館運営課長	佐々木 暢 行
教育研究所長	新 倉 邦 子

4 傍聴人 0名

5 議題及び議事の概要

- 委員長 開会を宣言
- 委員長 本日の会議録署名人に森武委員を指名した。

- 議案第30号は、人事案件のため秘密会とすることを提案、「総員挙手」をもって秘密会とすることを決定。

- 教育長報告
前回の定例会から本日までの報告事項

(永妻教育長)

それでは、平成 24 年 5 月 24 日から本日までの主な所管事項についてご報告いたします。

はじめに市議会対応についてです。6 月 8 日から 19 日間の会期で、市議会第 2 回定例会が開催されました。8 日に行われた本会議での教育委員会関連の質問では、武道必修化に伴う安全確保、環境教育・環境学習の推進など、様々なご質問をいただきました。12 日に行われた予算決算常任委員会教育福祉分科会及び教育福祉常任委員会では、旧坂本小学校の道路整備工事に伴う測量・地質調査・設計業務及び敷地測量を行うための費用を計上するための補正予算の審議などが行われ、26 日可決いたしました。また、14 日に行われた教育福祉常任委員会の所管事務調査では夏島小学校 ICT を活用した授業の取り組みを視察いただきました。

次に、横須賀総合高校全日制アーチェリー部の全国高等学校総合体育大会、インターハイへの出場についてです。5 月 26 日に、神奈川県高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会神奈川県予選・アーチェリー競技が開催され、横須賀総合高校は女子団体戦で初優勝を果たしました。この結果、8 月 3 日から新潟県で開催される全国高等学校総合体育大会への出場が決定いたしました。団体種目でのインターハイ出場は横須賀総合高校開校以来初の快挙となります。特にアーチェリー部は、教育委員会で行っている運動部活動強化育成事業の一環として、平成 17 年から技術指導者を派遣し、インターハイ出場を目標に強化を図ってきた部であり、悲願達成に学校も大いに盛り上がっております。

また、定時制におきましても、多くの選手たちが少ない練習時間にも関わらず好成績を収め、陸上競技、ソフトテニス、柔道において、それぞれ 2 人ずつが、全国高等学校定時制通信制大会への出場を決めております。こちらの方も全国大会は 8 月上旬から中旬にかけて開催されますので、終了後に結果のご報告させていただきます。

私からの報告は以上でございます。

委員長 報告事項を聴取することを宣言

報告事項（１）『ロンドンオリンピック横須賀市壮行会の開催について』

（スポーツ課長）

スポーツ課から、ロンドンオリンピック横須賀市壮行会の開催についての報告をさせていただきます。

今年の夏は、第 30 回オリンピック競技大会ロンドン大会が、7月 27 日から 8月 12 日までの予定で開催されます。同大会に横須賀ゆかりの選手が出場されますので、7月 6 日（金）午後 5 時 30 分から、市役所正庁において、「ロンドンオリンピック横須賀市壮行会」を開催します。主催は、前回の北京大会と同様に、横須賀市、横須賀市議会、横須賀市教育委員会、横須賀商工会議所、横須賀市体育協会の 5 者で開催いたします。壮行会出席予定者は、資料中「4 壮行会出席予定者」のとおりです。

なお、横須賀ゆかりの日本代表選手で、既にオリンピック出場が決定している選手は、いずれもセーリングの選手で、須長選手、近藤選手、富澤選手、牧野選手、高橋選手の 5 人です。女子の須長選手と近藤選手は、横須賀市にお住まいで、須長選手はミキハウス横須賀さいか屋店にお勤めでいらっしゃいます。男子の 3 人は、関東自動車工業株式会社に所属する選手です。現段階で日本代表の候補にあがっている横須賀ゆかりの選手は、“なでしこジャパン”の大野選手、近賀選手、矢野選手と、ホームタウンチームであります横浜 F・マリノスの齋藤選手、比嘉選手の 5 人です。日本サッカー協会からの最終の日本代表選手の発表は、7月 2 日（月）に行われると伺っております。正式に発表され次第、壮行会にもお招きする予定であります。

スポーツ課からの報告は、以上でございます。

（質問なし）

報告事項（２）『第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画について』

（中央図書館長）

第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画について説明させていただきます。

本日は、5月 24 日に行いました、第 2 次横須賀市子ども読書活動推進計画策

定検討委員会第1回会議の検討状況等についてご報告し、そして今後策定する計画についてのご意見を伺いたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

では、お手元の資料1をご覧ください。これは、策定検討委員会第1回会議に提出したものでありますが、1頁に記載の、1子どもの読書活動の意義、2国、神奈川県の動向、3横須賀市の計画及び、2～3頁に記載の、4横須賀市の子どもの読書活動の現状につきましては4月の教育委員会定例会においてご説明した内容ですので、割愛させていただきます。なお、資料2として横須賀市の児童・生徒の読書実態調査報告書を提出させていただいております。お目通しいただきますようお願いいたします。

では、4頁をお開きください。5第1次計画の成果と課題についてですが、第1次計画の体系に添って、まとめています。(1)家庭・地域における取組の成果と課題では、成果として、ブックスタート事業や市立図書館のおはなし会等の実施、児童書の貸出し冊数の伸び等をあげ、課題としては、ブックスタート後のフォローや、開催行事のPR不足、児童図書館の環境整備などがございます。

5頁をご覧ください。(2)学校等における取組みの成果と課題では、成果として、成長に応じたブックリストの配付や、学校での朝の10分間読書、読書感想文・読書感想画コンクール等の取組、学校図書館ボランティア養成講座の実施等があげられます。課題としては、ブックリスト配付後のフォロー等学校と市立図書館の連携不足や学校によっては読書活動推進の取組みや学校図書館の活用が充分でないこと、また学校図書館ボランティア養成講座受講修了者が充分に活躍できていないことなどがございます。

6頁をお開きください。(3)学校・関係機関・団体等が連携した取組の成果と課題では、市立図書館と市立博物館が連携したイベントの実施等が成果として挙げられ、今後、それぞれの連携強化を課題と考えております。

7頁をご覧ください。6第2次計画策定にあたっての考え方です。アンケート調査による横須賀市の現状と、第1次計画の成果と課題を踏まえ、まず1つは、第1次計画で成果が得られた取組みを、今後も継続していきたいと考えております。そして、アンケート調査で子どもたちの読書冊数が減少している結果がございました。この具体的な原因を確定することは困難ですが、やはりアンケート結果から学校における取組みが子どもたちの読書活動を推進する上で大変有効であることわかりましたので、学校での読書活動の推進を、第2次計画の重点項目として取組んでいきたいと考えております。

8頁をご覧ください。7第2次計画の目標、基本方針、取組期間についてです。国の基本計画、神奈川県計画に沿った目標、基本方針とし、記載の通り、自主的な読書活動を通して、子どもの「生きる力」を育むことを、大きな目標

とし、その具体的な取組みの基本方針としては、学校における読書活動の推進に重点を置き、そのほか、子どもたちを取りまく様々な場面で読書に親しむ環境づくり、機会づくり、体制整備、PRを行うこととします。

そして、取組みの期間は、国、神奈川県計画と同様、概ね5年間としております。

第1回策定検討委員会では、第2次計画においては、学校における読書活動の推進が重要であることが確認できました。主な意見としては、子どもの読書活動の意義についての啓発を進めることが必要であること、学校現場においては司書教諭以外の教員への読書の意義や手法についての研修が必要であること、学校図書館を人がいる状態で開館する体制づくり、学校図書館の蔵書管理システムの必要性について今後検討すること等の意見をいただいております。

続きまして、策定検討委員会の下部組織として、学校における読書活動の推進について検討を行っている「学校図書館活性化チーム」の活動状況についてご報告いたします。なお、学校図書館活性化チームは、教育委員会関係各課の職員と市立小学校、中学校の教員で構成しております。

お手元の資料3をご覧ください。1の検討経過は記載のとおり、これまでに4回の検討会を行いました。2の学校図書館の現状と問題点について、次の4点に分類いたしました。(1)学校が開いている時間に常時開館するのが難しい市立小学校、中学校の司書教諭は専任ではないため、自らが図書館を常時開館することは出来ず、また図書館ボランティアとの調整さえも手が回らない状況があります。(2)学校図書館の整備が整っていない。蔵書管理が整っていないことから、選書も難しく、学校図書館に期待される学習センター機能、情報センター機能が十分に発揮出来ていない学校が多くあります。(3)学校司書の配置が難しい。(1)の学校が開いている時間に開館出来ないと重なりますが、図書館に専門的な知識を持った人材がいることで、学校図書館を活用した授業への取組みが推進されるが、その配置が現状では難しいということでもあります。(4)その他ですが、現状の中で、先生方が市立図書館を利用する場面で、市立図書館への要望として出された意見で、選書や物流、利用時間等、今後市立図書館と学校との連携を深めていく部分であります。

2頁をご覧ください。学校における読書活動を推進するために、「学校図書館活性化チーム」が現在検討を行っている施策案であります。予算措置が必要なものもございますし、具体的な事業内容の精査が必要でありますので、今後、教育委員会及び子ども育成部の関係課長で構成するプロジェクトチームで検討する予定となっております。

(1)学校図書館の整備、(2)購入図書の装備、(3)蔵書のデータベース化の検討については、学校図書館の蔵書管理の現状を改善する施策であります。

(4) 物流ネットワークの構築については、学校と市立図書館の連携強化の検討であります。(5) 学校図書館コーディネーターと学校図書館サポーターの配置、(6) 教職員の研修、(7) 学校司書の人員配置を要求、(8) ボランティアの活用、についての検討は、学校図書館を常時開館し、子どもたちの読書習慣の確立と読書指導の充実を図る施策であります。そして、(9) 具体的な活性化事例の検討といたしまして、今年度特別教室棟の完成により、新しい図書館を開館する池上小学校と、学校の新築に伴って、図書館が新しくなる諏訪小学校において、常時学校図書館が開館して、児童がいつでも楽しく訪れることができ、学校図書館の機能が十分に発揮できるよう実践していくことを目指しております。

以上で、第2次横須賀市子ども読書活動推進計画についての説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

(齋藤委員)

5 ページ目の学校図書館ボランティア講座についてですが、942 名参加されて実際に学校へ行っている方は何名くらいいますか。

(生涯学習課長)

何名かは把握しておりません。実際にボランティアとして活躍していて、スキルアップして参加している方は活かされています。活動が進んでいない学校は研修が活かされていません。

(齋藤委員)

機会があれば積極的にボランティアをしたい方が多いのか、それとも講座を受けただけという方が多いのか把握できていますか。

(生涯学習課長)

P T A協議会の役員から各学校へ割り当てられるため、把握していませんが、興味を持っていない方の参加が多いのも事実です。

(齋藤委員)

実際やりたい人は多いのに活躍する場が少ないのであれば学校で検討していただきたいと思い伺いました。6 ページ記載の連携機関を増やしていくことは考えているのですか。

(中央図書館長)

新たに横須賀美術館との連携を考えています。

(齋藤委員)

5ページの朝10分の読書活動について、やっている学校とやっていない学校の違いは何でしょうか。時間を確保できないことがやっていない理由になっていますが、カリキュラム等は同じなのに何が違うのでしょうか。

(教育指導課長)

有効であることは分かっていますが、朝の時間は学校それぞれで算数や国語などのドリルをやったり、そのあとの授業に落ち着いて入れるような時間にしていたり、子どもたちの心の健康状況を把握する時間に充てています。一律で導入とは至っていないのが現状です。

(齋藤委員)

各学校大事だと思うことに10分を使っているということですか。

(教育指導課長)

そういうことになります。

(森武委員)

中央図書館との恒常的な連携はどうなっていますか。

(中央図書館長)

特別貸し出しで1カ月間50冊の貸し出しを行っています。学校により利用状況に差があり、学校から使い勝手が悪いと言われています。まず50冊を先生が選び、先生が図書館から学校へ運ばなくてはならないので、なかなか利用していただけていないのが現状です。

(森武委員)

制度はあるが使うのは学校次第で、担当に依存しているという現状でよろしいですか。

(中央図書館長)

その通りです。

(三塚委員長)

学校図書館の活性化チームで課題が浮き彫りになっていますが、施策案については策定検討委員会へ反映できていますか。

(中央図書館長)

現在検討段階で、策定委員会へは具体的に案は出していません。プロジェクトチームで検討してから策定委員会へ施策案を提出する予定です。

(三塚委員長)

1 ページ(2) 学校図書室の整備について、バーコードの管理を豊島小は保護者ボランティアで行っていますが、それぞれの学校で検討できないのでしょうか。

2 ページの提案(7) 学校図書の人員配置要求について、文科省は学校司書を地方財政措置で予算化していると言っているのですが、教育指導課で配置計画ができるのではないのでしょうか。

(中央図書館長)

1 ページ(2) バーコード管理についてですが、豊島小学校等、すでに導入している学校を調査し検討していきたいと考えています。

2 ページ記載の正規司書教諭の配置要求ですが、なかなか配置は難しいと考えております。文科省の予算措置は(5) コーディネーターについてと思いますが、予算化を検討しております。

(教育指導課長)

学校図書室に人がいる体制を整備していきたいと考えております。今年度からコーディネーターやサポーターで行っています。成果・課題をまとめ、配置を検討し、予算化していきたいと考えています。

(三塚委員長)

学校側は早い整備が必要で、前からも言っているため早急に配置できるように検討していただきたい。

(森武委員)

市立図書館はネットワーク化しているので、学校の図書室にもそのシステムの一部を利用するなどできないのでしょうか。

(中央図書館長)

他市では公共図書館のシステムとの連携をしている例がありますが、かなりの費用が必要であると聞いていますので、現在の本市財政状況では厳しいと考えています。

(森武委員)

学校ごとに個別に導入した方が費用がかからないのか、既存のシステムを学校全体入れた方が費用がかからないのかなど、全校に広めていくことを踏まえ検討していただければと思います。

(中央図書館長)

検討していきたいと思います。

理事者報告

(学校管理課長)

追加で提出させていただきました第2回市議会定例会に提出されました「平成24年請願第4号」についてご報告させていただきます。

1 ページ目をご覧ください。請願の内容は、学校内に仮処分として埋設した除染土砂を学校外へ移設することを求めるものです。

2 ページ目には紹介議員の署名が記載されています。

3 ページ～4 ページ目は、請願に対する教育委員会としての所見です。要旨は、除染土砂埋設場所の放射線測定の結果、低い値であり、埋設場所は通常児童生徒が立ち入らない場所を選定しているため、安全性は確保されているといった内容です。

5 ページ目には、市議会の教育福祉常任委員会で付された意見を記載しています。審議結果は、不採択となりましたが、「処分先の選定について、積極的に調査、検討を行なうこと」という意見が付されました。

6 ページ目に添付したのは、参考資料です。平成23年11月～12月に埋設した時点での測定値と平成24年2月に再測定を行なった結果の一覧表です。放射線量はいずれも低い値であり、大部分が空間線量と同等という結果が出ております。

(森武委員)

5～6月の再測定結果はどうなりましたか。

(学校管理課長)

再測定が終わったばかりなので、次回報告します。6月4日～26日まで、前回からの変化量を測りました。結果はホームページへ順次公開しています。結果は、73校中11校14箇所、総量20袋、基準値を超える土砂を袋詰めしました。来週埋設する予定です。

(森武委員)

新たに基準値を超えたところは以前から高かったところに集積して基準値を超えたのかなど概略で知見があれば教えてください。

(学校管理課長)

実際に前回測定した段階で、基準値1cmで $0.59\mu\text{Sv/h}$ 、1mで $0.23\mu\text{Sv/h}$ 以下の場所については、現状はそのままにしてあります。除染した場所は基準値を超えませんでした。前回基準値ギリギリだった場所では、さらに堆積して基準値を超えてしまった場所がありました。

(森武委員)

除染したところはよかったが、基準値以下で様子を見たところで今回基準超えているということになりますが、今後定期的に測定するなど何か方向性があれば教えてください。

(学校管理課長)

今回の測定した結果について数値は公表しています。再度、除染をしたところは下がりましたが、前回除染した場所は変化がありませんでした。今後は前回と変わらず数値の高いところのみを測定するべきであるか考えています。再度詳細に調べてから検討します。

理事者報告

(学校保健課長)

5月の定例会で報告いたしました冷凍ミカンの学校給食での使用について経過を報告いたします。お手元の資料を参考にご覧ください。

冷凍ミカンですが、5月29・30・31日の3日間で全市小学校の給食で提供いたしました。事前に一部の保護者からの使用中止を求める声、また一部の市議会議員からは食材変更の申し入れ等がありましたが、測定結果等の数値から安全であると判断し、給食で使用いたしました。そういった声もございましたので、お手元の資料の通り保護者に対し測定結果、3 その他で、『お子様に食べさ

せないことを希望する場合は、ご家庭の判断にお任せします。』と記載し、全家庭に紙ベースで配布しました。

通常の給食と同じ扱いということで、この通知に基づいて冷凍ミカンを食べないと判断した保護者の詳細な人数は把握しておりません。いくつかの学校に聞き取りした際、残らなかった学校と、30 個くらい残った学校もあると把握しています。保護者の希望で食べなかった児童が多かったという報告は今のところありません。

冷凍ミカンにつきまして、横須賀市では1 回限りの提供でしたが、近隣市ではまだ提供するという事です。

(委員質問なし)

日程第1は、人事案件のため秘密会とすることを宣言。関係理事者以外の退席を求めた。

6 閉会及び散会の時刻

平成24年6月29日(金) 午前10時19分

横須賀市教育委員会

委員長 三 塚 勉